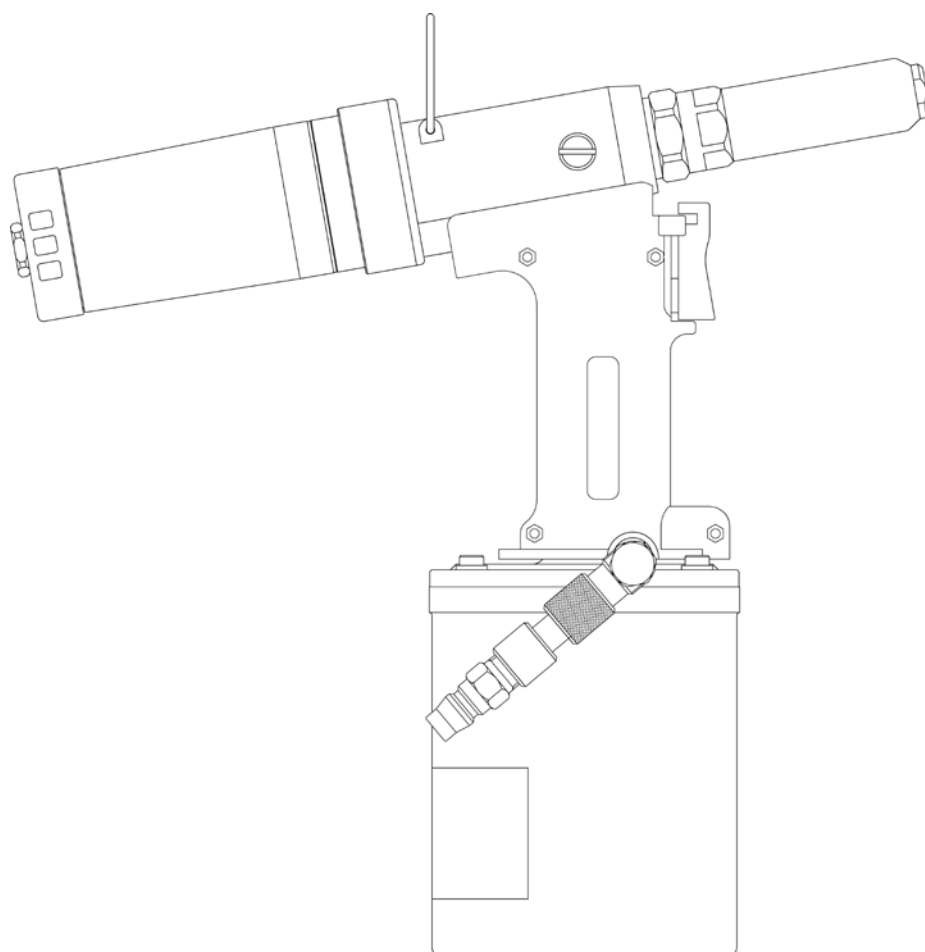


リベットツール
ProSet3400-AHR
取扱説明書



本機はポップリベット専用リベットツールです。
ご使用になる前に本取扱説明書を必ずお読みいただき、記載事項に基づき正しくご使用ください。
また、本取扱説明書は、実際に使用される方がいつでも見られる場所に保管してください。

ポップリベット・ファスナー株式会社
NIPPON POP RIVETS AND FASTENERS LTD.

POP  **Avdel**

目 次

安全上の注意事項		1
1. 各部の名称		3
2. 概要		4
3. 仕様(寸法図)		5
4. 使用前の準備		6
5. 使用上の注意事項		8
6. 使用方法		9
7. 保守・点検		11
8. トラブルシューティング		17
9. オプション		18
10. パーツリスト		19
11. 分解図		21

安全上の注意事項 (1/2)

- ご使用になる前にこの「安全上の注意事項」すべてをよくお読みの上、取扱説明書の指示に従って正しくご使用ください。
- 注意事項には下記の区分があります。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される事項です。

- お読みになった後は、実際に使用される方がいつでも見られる場所に保管してください。
- 本機は適正なポップリベットの締結のみにご使用ください。
(リベットの選定は、ポップリベットのカatalogをご参照ください。)

警告

1. 使用空気圧力は、0.5～0.6MPaにてご使用ください。
◇使用空気圧力を超えて使用した場合、本機が破損し、事故や傷害を負う恐れがあります。
2. 人に向けての本機の使用、操作は行わないでください。また、本機を前方及び後方からのぞかないでください。
◇リベット及び破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
3. 使用中は保護めがね(JIS T8147 規格品)を着用してください。
◇リベット及び破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
特にBHM及びピールタイプリベットは、マンドレルヘッドが飛び出す仕様の為、特に注意が必要です。詳細はポップリベットのカatalogをご参照ください。
4. 必ず損傷のないコレクタを取り付けてご使用ください。
◇破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
5. ご使用前に各部の損傷がないかを確認し、損傷があった場合は使用を止め修理に出してください。
◇損傷のある状態で使用すると、事故や傷害を負う恐れがあります。
6. 圧縮空気供給部の接続は確実に行ってください。
◇接続部のねじがあわなかったり、ねじの入りしろが不十分な場合、使用中にカプラ、ホース等が外れて事故や傷害を負う恐れがあります。

安全上の注意事項 (2/2)**⚠ 注意**

1. 本機の保守、部品交換等での分解／組立時は、カプラを分離する等により、必ず圧縮空気の供給を止めてください。
◇圧縮空気が供給された状態で分解／組立を行うと、部品の飛び出し、オイルのふき出し、予期せぬ動き等により事故や傷害を負う恐れがあります。
2. フィルスクリュをしっかりと締め込んだ状態でご使用ください。
◇フィルスクリュが緩んでいたり外れた状態で使用すると、オイルがふき出し、事故や傷害を負う恐れがあります。
3. ノーズハウジングを外した状態で、操作しないでください。
◇指をはさむ等、傷害を負う恐れがあります。
4. 当社より供給された部品、または推奨された部品のみをご使用ください。また、お使いになるリベットに適合した部品を取り付けてご使用ください。
◇十分な性能が発揮できないだけでなく、異常動作等により事故や傷害を負う恐れがあります。
5. 当社に無断で本機を改造しないでください。
◇異常動作等により事故や傷害を負う恐れがあります。
6. 本機の保守は、機能・機構を理解された適任者にて実施してください。また、その場合も取扱説明書の指示に従い、充分注意して作業をしてください。
◇保守の知識、及び技術のない方が実施されますと十分な性能が発揮できないだけでなく、事故や傷害を負う恐れがあります。
7. 本機の修理は当社にお申し付けください。
◇修理は必ずお買い求めの販売店または当社にお申し付けください。
修理の知識、及び技術のない方が実施されますと十分な性能が発揮できないだけでなく、事故や傷害を負う恐れがあります。
8. ハンドルの握りの部分は常に乾いたきれいな状態を保ち、油やグリス等の付着のないようにしてください。
◇手が滑り本機を落とす恐れがあります。
9. 破断したマンドレルを床に散らかさないようにしてください。
◇破断したマンドレルは先が尖っている為危険です。また、上に乗った場合滑りやすく、転倒等の恐れがあります。
10. コレクタボディ(材質はポリカーボネートです)には、有機溶剤を付着しない様にしてください。
◇上記部品の破損により、部品などが飛び出し、事故や障害を負う恐れがあります。
11. 排気口からの排気にご注意ください。
◇排気口から勢いよく霧状の空気が排気される場合がありますので、顔(特に目)を近づけないでください。また、排気により付近の物を汚す恐れがありますのでご注意ください。

〔 主に、供給される圧縮空気の状態により、油分、水分等を含んだ霧状の空気が排出されることがあります。 〕

※各部の名称についてはP. 3をご参照ください。

1. 各部の名称

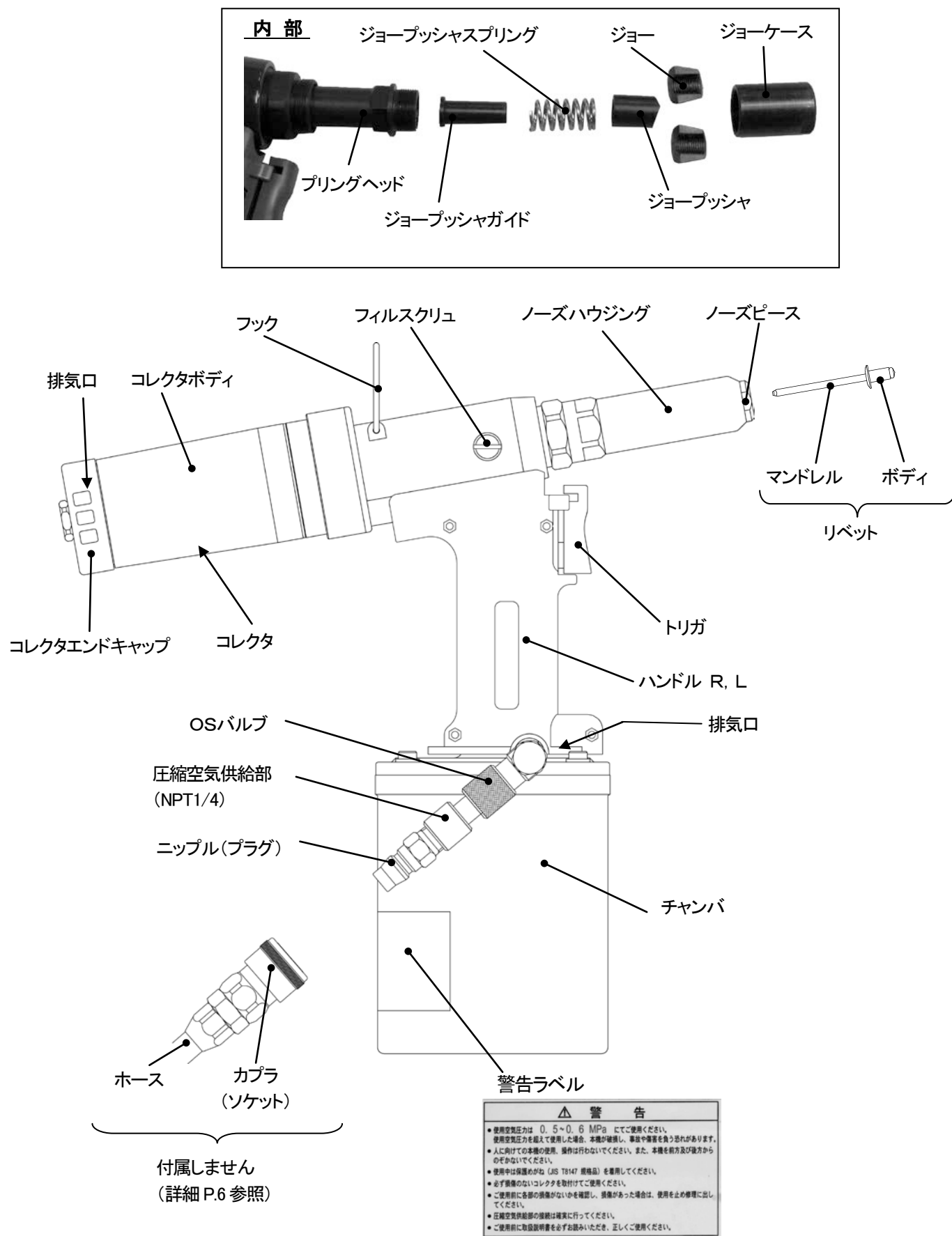


図 1-1

2. 概要

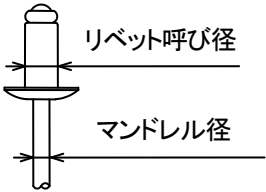
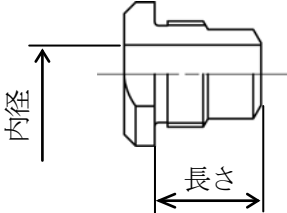
ProSet3400-AHRは空油圧式のリベットツールです。MCS(マンドレルコレクションシステム)を標準装備しており、締結後の破断マンドレルをコレクタ内に吸引回収します。

締結可能リベット及び適合ノズピースは(表2-1)の通りです。

リベットの品番に適合した部品を使用して下さい。

異なったノズピース、ジョーブッシャ使用するとリベットの締結不良やツール故障の原因となります。

(表2-1) 締結可能リベット及び部品適合表

リベット			ノズピース			
						
呼び径 (ϕ mm)	リベット品番	マンドレル径 (ϕ mm)	品番	穴内径 (ϕ mm)	長さ (mm)	備考
10.2	AD-135-AHR	7.3	PRN1310	7.7	14	標準

3. 仕様(寸法図)

型 式	ProSet3400-AHR
重 量	1.94 kg
全 長	325 mm
全 高	315 mm
ストローク	20 mm
使用空気圧力	0.5~0.6 MPa
空気消費量(ANR)	6.1 L/リベット + 90 L/min(MCS)
引 力	19.2 kN(0.5MPa)
締結可能リベット	リベット径 ϕ 10.2mm P.4 表2-1参照

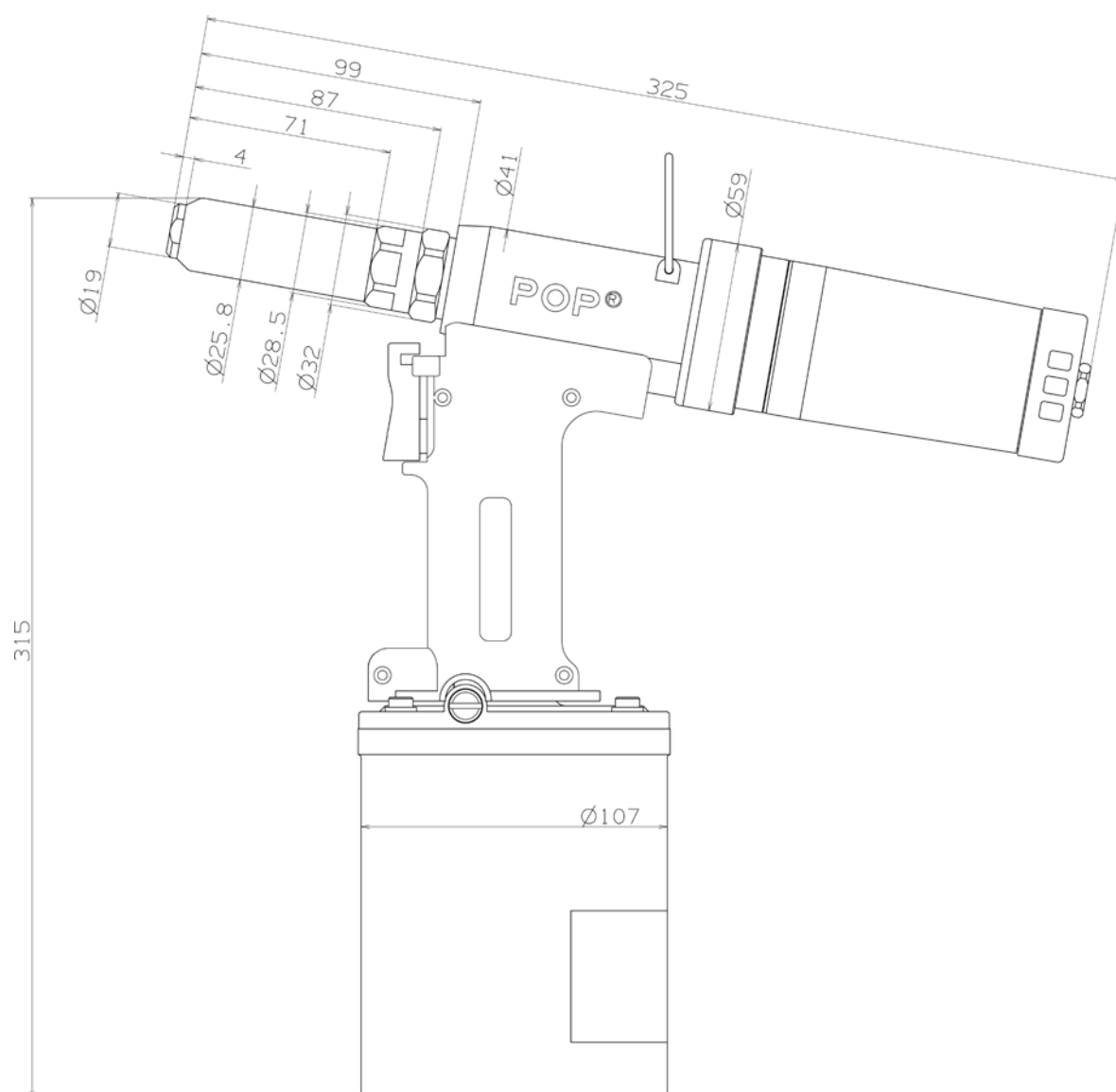


図3-1

4. 使用前の準備

- (1) 使用リベットに適合したノーズピースが取り付けられているか確認してください。
 適合しない部品が取り付けられている場合は、適合する物に交換してください。
 (P.4 表2-1)
 ※交換方法については、P.12をご参照ください。
- (2) リベットツールの圧縮空気供給部にニップルを取り付け、圧縮空気を供給してください。なお、コンプレッサとリベットツールの間には、エアフィルタとレギュレータを取り付け、供給空気圧力を0.5～0.6 MPa に調整してください。

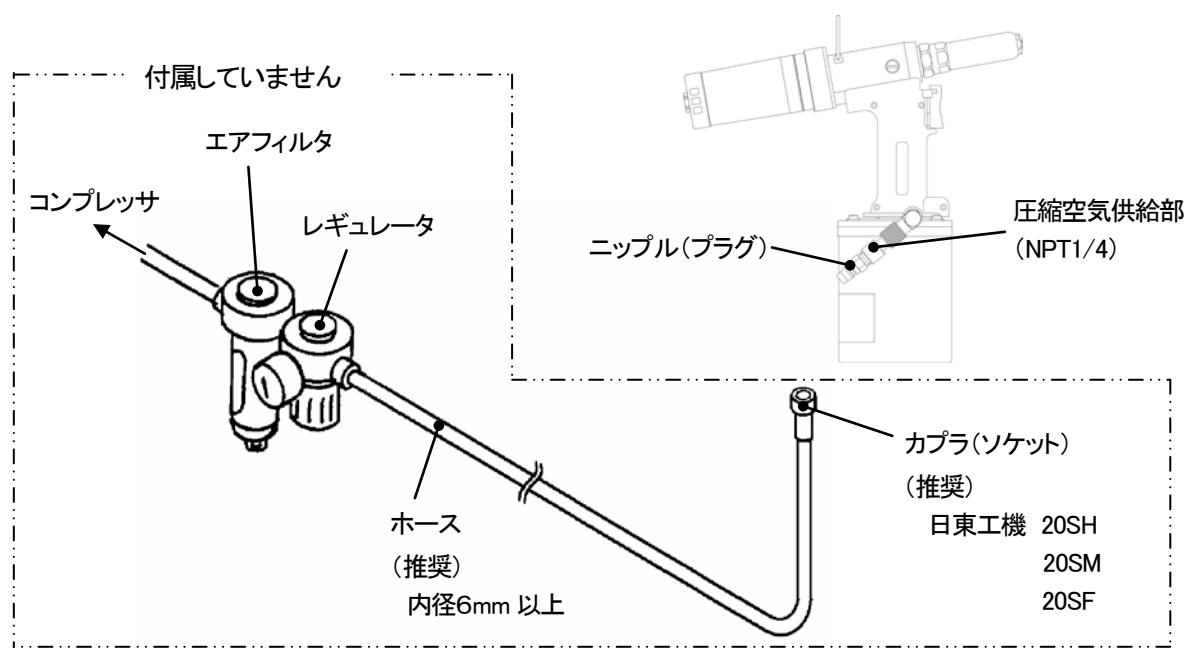


図4-1

⚠ 警告 ホースは、実際の使用温度において、常温（最高）使用圧力が0.7MPa以上の物をご使用ください。また、使用環境に合った（例：耐油性、耐摩耗性等）ホースをご使用ください。※詳細は、ホースメーカーのカatalogをご参照ください。

- (3) コレクタが確実に装着されているか確認してください。確実に装着されていない場合は、コレクタを右に回し、確実に装着してください。
 (図4-2)

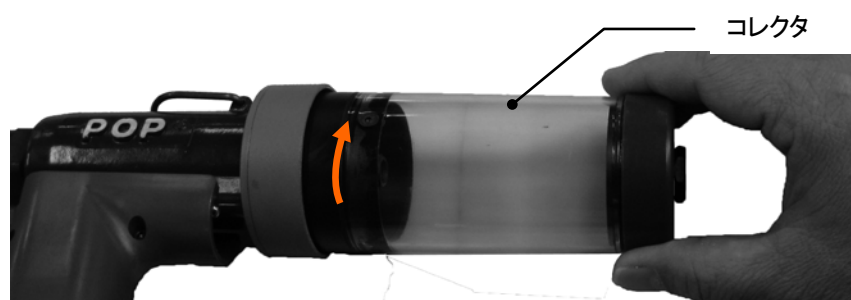


図4-2

(4) 締結作業を行わない時の圧縮空気の消費をなくす為、圧縮空気の供給を簡単に停止させるOSバルブが付いています。

<使用方法>

- ① 圧縮空気を供給する。(OSバルブを開く)(図4-3)
- ② 圧縮空気の供給を止める。(OSバルブを閉じる)(図4-4)

矢印の方向に押す

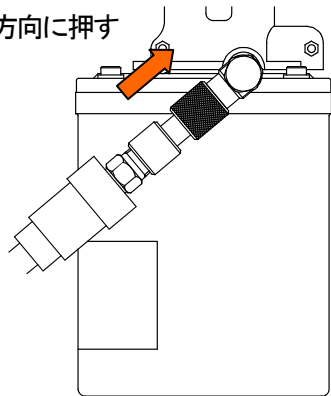


図4-3

矢印の方向に引く

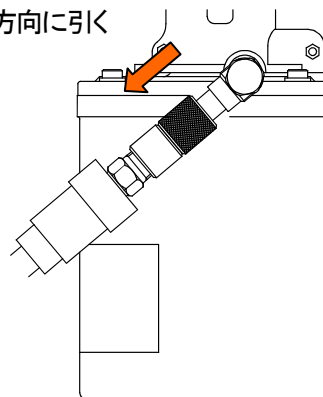


図4-4

5. 使用上の注意事項

(1) 使用空気圧力

使用空気圧力は、0.5～0.6 MPa にてご使用ください。

使用空気圧力を超えて使用した場合、本機が破損し事故や傷害を負う恐れがあります。また、使用空気圧力以下の場合にはリベットを締結できない場合があります。

適正な空気圧力へ調整する為にレギュレータを使用してください。(P.6)

(2) エアフィルタの使用

圧縮空気中に水分やゴミが含まれるとリベットツールの寿命に影響します。エアフィルタを使用してください。

(P.6)

(3) ノーズピース

使用リベットに適したノーズピースを使用してください。(P.4 表2-1)

適合しない物を使用すると、正常に締結できない場合があります。

※交換方法については、P.12をご参照ください。

(4) 油圧オイル

指定の油圧オイルを使用してください。

油圧オイルは表5-1の中から選んで使用してください。これ以外のオイルは故障の原因になります。

(表5-1) 指定の油圧オイル

会 社 名	品 名
出光興産	ダフニーハイドロリックフルイド 68
エクソンモービル	モービル DTE 26
	テレツソ 68
コスモ石油	コスモオルパス 68
新日本石油	FBK RO68
昭和シェル石油	シェルテラスオイル C68

(5) マンドレルの廃棄

コレクタ内に回収されたマンドレルは収容能力内(P.10 表6-1参照)で廃棄してください。

収容能力を超えて締結した場合、締結作業が継続できないだけでなく、MCSの破損やマンドレルの詰まりが生じる恐れがあります。

(6) コレクタの扱いについて

コレクタボディはポリカーボネート製です、有機溶剤をつけないでください。有機溶剤をつけると変質、破損をまねく恐れがあります。

洗浄する場合は中性洗剤を使用してください。

6. 使用方法

6-1 締結作業

締結作業は コレクタを装着して行ってください。

(P.6 4 (3)項参照)

- (1) ノーズピースにマンドレルを差し込みリベットを装着した後、母材下穴にリベットのボディを挿入してください。

(図6-1)

〔リベットは、MCS によりノーズピースに吸着します。〕

または、リベットのボディを母材下穴に挿入してから、リベットツールを持っていきノーズピースにマンドレルを差し込んでください。

(図6-2)

- (2) リベットツールを母材に対し垂直に押しあて、締結される母材同士、リベットのフランジ及びノーズピースの各々が密着した状態にて、トリガを引いてください。

マンドレルが破断し、リベットが締結されます。

(図6-3)

- (3) リベットツールを母材から離れた後、トリガを放してください。

コレクタ内に破断したマンドレルが回収されます。

(図6-4)

(注) コレクタ内に回収されたマンドレルは、コレクタの収容能力内で廃棄してください。

(P.10 参照)

- (4) マンドレルの回収を確認した後、次の締結に移ってください。

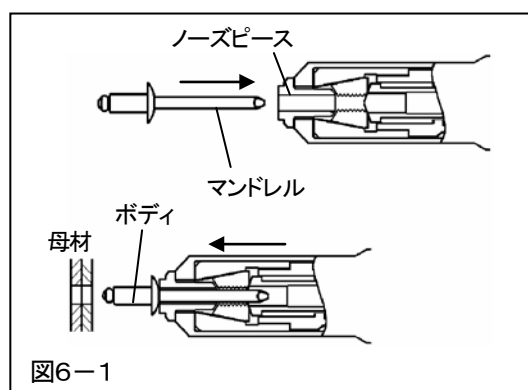


図6-1

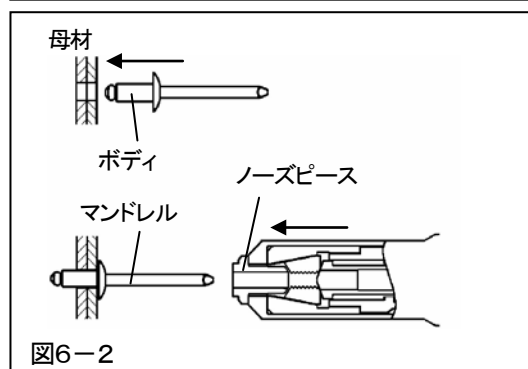


図6-2

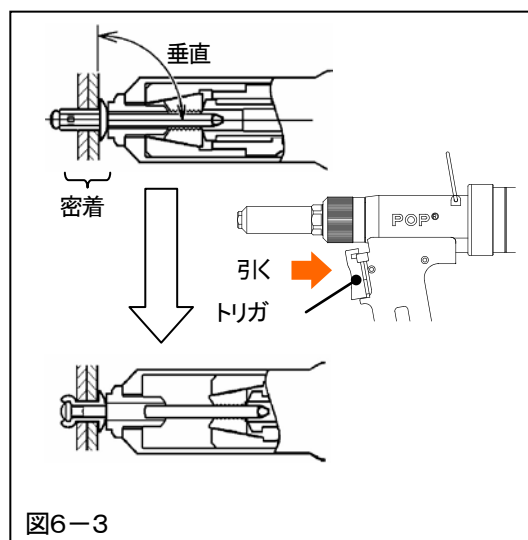


図6-3

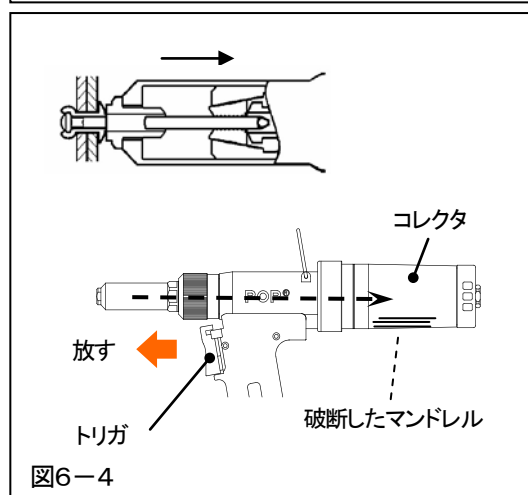


図6-4

※ リベットの選定、母材下穴径の設定等はポップリベットカタログをご参照ください。

6-2 マンドレルの廃棄

リベットの締結作業(6-1項参照)でコレクタ内に回収されたマンドレルは、コレクタの収容能力内で廃棄してください。(表6-1)

(表6-1)コレクタの収容能力

リベット呼び径	収容能力
φ 10.2	約 20 本

<使用方法>

コレクタを左に回すと取り外すことができます。開口部よりマンドレルを廃棄して下さい。(図6-5)

リベット締結時は、コレクタを右にまわし、確実に装着してください。(図6-6)

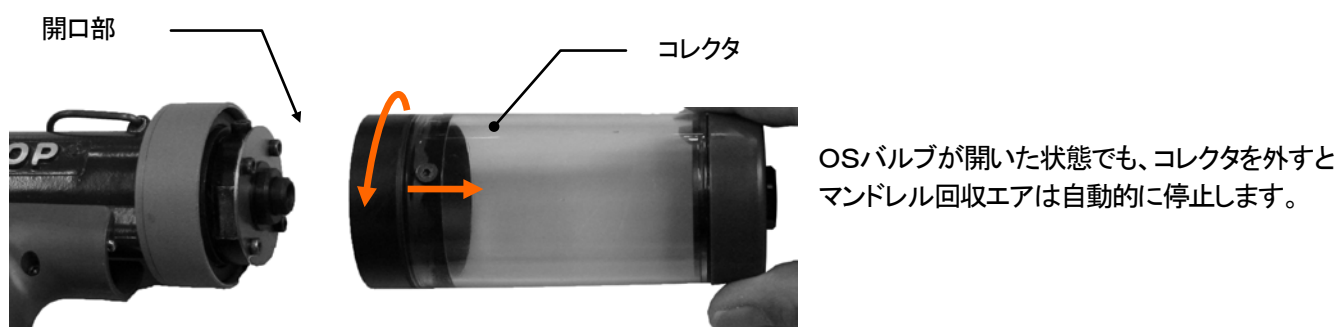


図6-5



図6-6

7. 保守・点検

(表7-1)

No	項 目	目 的
7-1	ジョー等の先端部部品の清掃・グリスアップ	・金属粉の除去、ジョーの滑り及び噛み込みの防止 ・ジョー、ジョーケースの早期摩耗防止
7-2	ノーズピースの交換	・損傷による交換 ・使用リベット変更の為の交換
7-3	ジョープッシャの交換	・損傷による交換
7-4	ジョーの交換	・摩耗による交換
7-5	ジョープッシャスプリングの交換	・ヘタリ、破損による交換
7-6	MCSキャップ内の清掃	・コレクタを外しても、マンドレル回収エアが自動的に停止しない症状の復帰
7-7	コレクタエンドキャップ内の清掃	・MCS 機能低下の防止
7-8	油圧オイルの交換	・ストローク復帰

7-1. ジョー等先端部品の清掃・グリスアップ

約 5,000 本締結を目安にジョー等の先端部品の掃除・グリスアップを行ってください。

数千本締結すると金属粉が先端部に付着し、動きが悪くなったりジョーが滑ったりします。この状態で作業を続けると、ジョーの寿命が短くなります。

また、ジョー部の潤滑不良の場合、噛み込みの発生やジョー、ジョーケースの早期摩耗の原因になります。

- (1) カプラを分離する等により圧縮空気の供給を止めて下さい。
- (2) ノーズハウジングをモンキーレンチで緩め、ノーズハウジングを外します。
- (3) モンキーレンチで、ジョーケースを緩め、プリングヘッドから外します。(図7-1)
- (4) この時、外れてくるパーツを(図7-2)に示します。これらのパーツ及びノーズハウジング・プリングヘッドの内部をブラシなどを使って、灯油等で洗浄・掃除します。

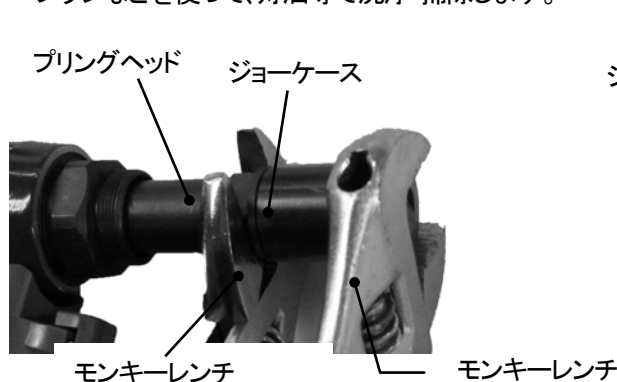


図7-1

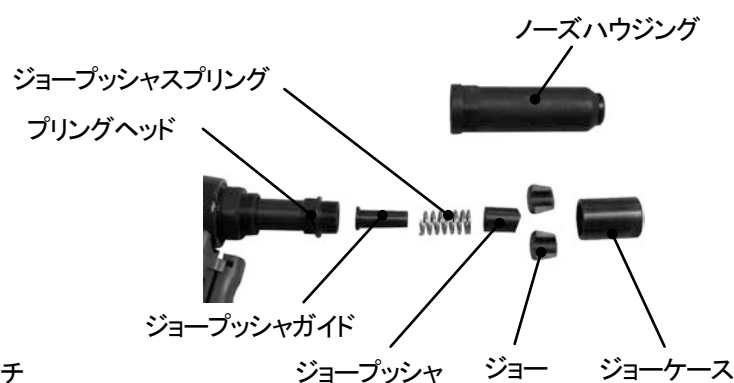


図7-2

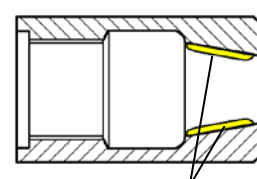
- (5) ジョーケースの内側(ジョーと接する面)にグリスを十分に塗布して組み付けてください。(図7-3参照)

グリスは二硫化モリブデン系グリスの使用を推奨します。

- (6) ジョーケースは手で回らなくなるまで、締め込み1ノッチ(図7-1参照) 戻してください。

- (7) ノーズハウジングを取付け、モンキーレンチで締め込んでください。

ジョーケース(断面)



グリス(厚さ 約 1mm)

図7-3

7-2. ノーズピースの交換

ノーズピースが損傷した場合は、新しいノーズピースと交換してください。

また、使用リベットを変更する場合は指定のノーズピース(P.4 表2-1)に交換してください。

<手順>

(1) レンチ及びスパナでノーズピースをノーズハウジングから取り外してください。(図7-4)



図7-4

(2) ノーズハウジングに指定のノーズピースをしっかりと締め込んでください。

7-3. ジョーブッシャ、Oリングの交換

ジョーブッシャおよびOリングが損傷した場合は、新しいジョーブッシャ、Oリングと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P.11)の要領でジョーブッシャを取り出し交換してください。

7-4. ジョーの交換

ジョーが損傷した場合、及びジョーの清掃をしてもすぐに滑るような場合(歯部の摩耗)、新しいジョーと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P.11)の要領でジョーを取り出し交換してください。

(2) 組み付ける前に、先端部品の清掃・グリスアップを実施してください。(P. 11 7-1 参照)

7-5. ジョーブッシャスプリングの交換

破断した場合には新しいスプリングと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P. 11)の要領でジョーブッシャスプリングを取り出し交換してください。

7-6. MCSキャップ内の清掃

使用しているとリベットの締結時に出る金属粉がMCSキャップ内に溜まり、コレクタを外してもマンドレル回収エアが自動的に停止しない場合があります。この症状が出始めましたらMCSキャップ内の清掃を行ってください。

<手順>

- (1) カプラを分離する等により、圧縮空気の供給を止めてください。
- (2) コレクタを外してください。コレクタを手で左にまわして外します。(図7-5)

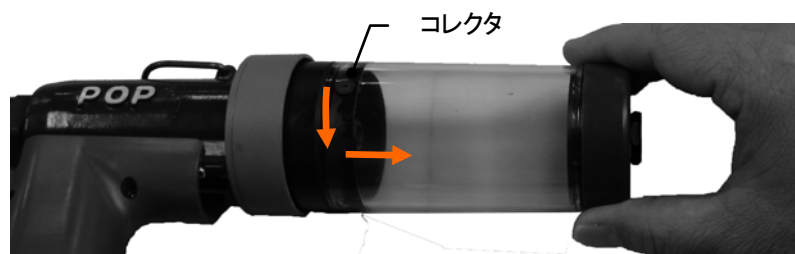


図7-5

- (3) キャップスクリューを2.5mm 六角レンチで外した後、エジェクタを外してください。(図7-6、7)
この時、エンドキャッププレート、ワッシャが外れます。(図7-8)

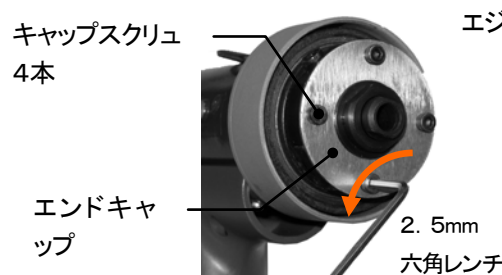


図7-6

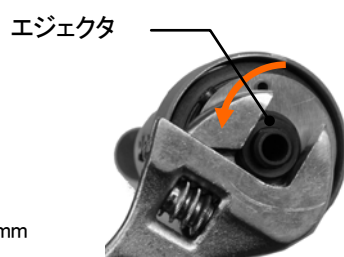


図7-7

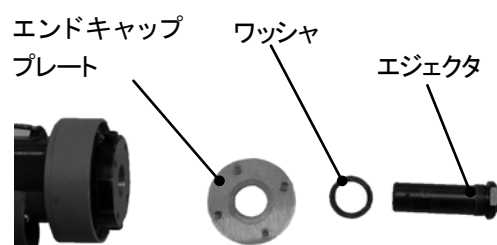


図7-8

- (4) エンドキャップ(二面巾41mm)をモンキレンチで緩め、エンドキャップを外してください。(図7-9)
スライダアセンブリとリタンスpringを手で引き抜いてください。(図7-10、11)



図7-9



図7-10



図7-11

- (5) Oリングを小さなマイナスドライバー等で外してください。スライダプッシャをずらし、内側のOリングを外してください。その後各部品をきれいなウェス等で拭いてください。(図7-12、13)
部品をきれいにした後、逆の手順で組立ててください。(図7-14)

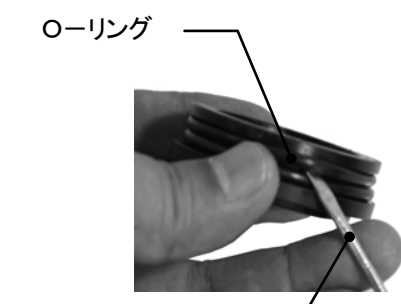


図7-12

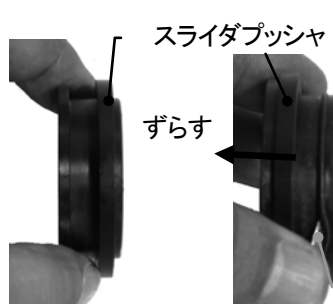


図7-13

スライダプッシャには、向きがあります。
図の向きで組付けしてください。
内側に段差があります。



図7-14

- (6) MCSキャップを手で緩め外し、エンドキャップ周り、MCSキャップフロント等を、きれいなウェス等で拭いてください。(図7-15, 16)



図7-15



図7-16

- (6) 清掃が完了した後、逆の手順で組み付けてください。

ー7. コレクタエンドキャップ内の清掃

コレクタエンドキャップ内にゴミが溜まり、破断したマンドレルが回収されなくなったり 吸引力が低下した場合は、清掃を実施してください。

<手順>

- (1) コレクタエンドナットをスパナで外し、コレクタエンドキャップ、コレクタサイレンサを外してください。

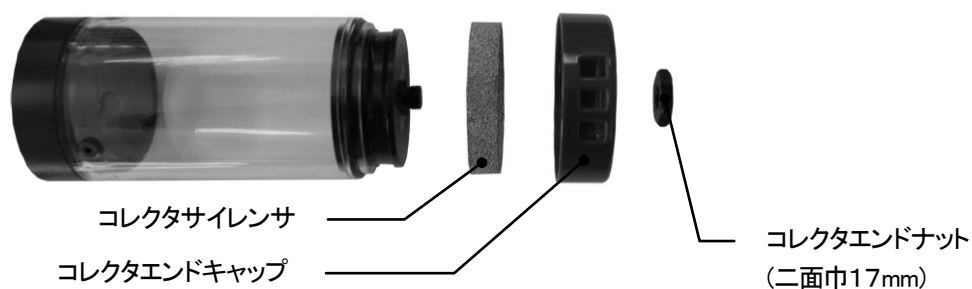


図7-17

- (2) コレクタサイレンサを外すとコレクタエンドが見えますので、コレクタエンド溝部をエアガン等でエアを吹付け清掃してください。(図7-18)

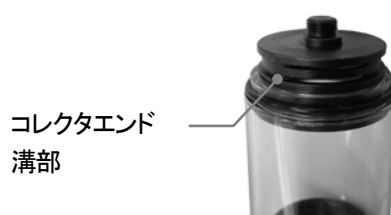


図7-18

- (4) 清掃が完了した後、分解の逆順で組立ててください。

コレクタエンドキャップの挿入時、コレクタエンドナットの締付け時、ドライバ等でコレクタエンドを 押上げておくと組付け易くなります。



図7-19

7-8. 油圧オイルの交換

油圧オイルが減少しストローク不足になった場合(1回のトリガ操作で、ポップリベットが締結できなくなった場合)は、次の手順で油圧オイルを交換してください。

油圧オイルの交換をしても、すぐストローク不足になる場合は、シールの摩耗が原因です。修理に出してください。

＜手順＞

- (1) カプラを分離する等により、圧縮空気の供給を止めてください。
- (2) コレクタ、及びノーズハウジングを外して下さい。
- (3) 4mm 六角レンチでキャップボルト(4本)を外してください。(図7-20)
- (4) チャンバを上にして垂直に立て、チャンバを上方に引き抜いてください。次にチューブアセンブリとエアピストンアセンブリを上方に引き抜いてください。(図7-21)スリーブ内に入っている油圧オイルを廃棄してください。

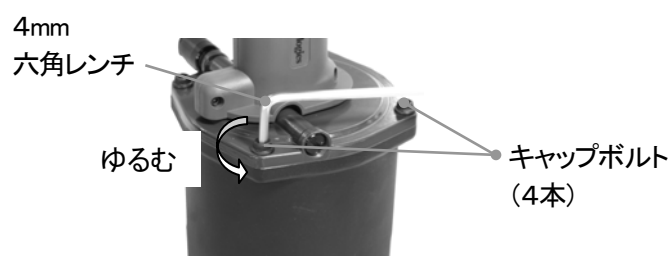


図7-20

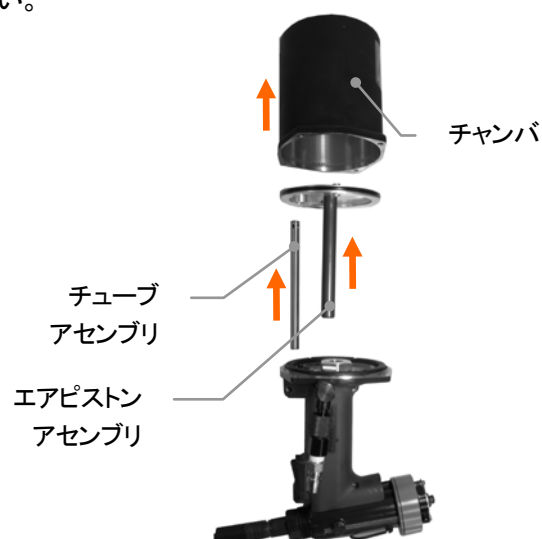


図7-21

- (5) スリーブ内に指定オイル(P.8 表5-1)を注入してください。
油面がバックアップリング面になるまで注入してください。(図7-22)

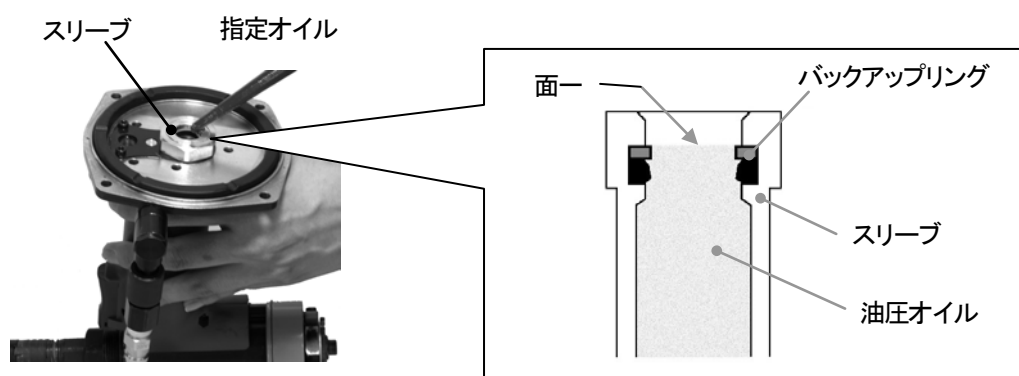


図7-22

- (6) マイナスドライバでフィルスクリュを約3mm 緩め、エアピストンアセンブリを約半ストローク押し込み保持します。フィルスクリュ部から汚れた油圧オイルがにじみ出てきますので、この油圧オイルが出なくなるまで、保持してください。(図7-23)
- (7) フィルスクリュを仮締めし、エアピストンアセンブリを引き抜き、再度油圧オイルを(5)の要領で注入して下さい。
- (8) エアピストンアセンブリを押し込み、手で5～6回ピストン運動させた後、再度エアピストンアセンブリを引き抜き、油面を確認してください。(図7-24)
- 油面が下がっている、または空気が混入しているような場合は(7)及び(8)を繰り返してください。



図7-23



図7-24

- (9) 油圧オイルの注入が完了した後、エアピストンアセンブリを組付け、エアピストンアセンブリ部のチューブシールケースにチューブアセンブリ挿入し組付けてください。(図7-25、26)
- エアピストンアセンブリとチューブアセンブリが直立した状態で、チャンバを組み付けます。(図7-27)
- 組み付ける前に、必ずチャンバの内側にグリスを塗付してください。
- 組み付けは分解と逆の手順で行ってください。

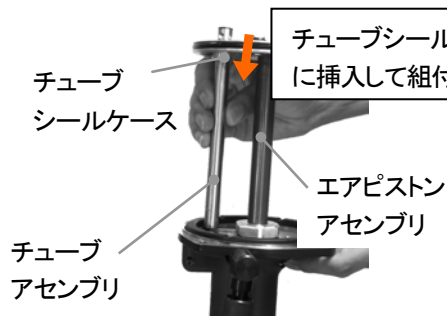


図7-25



図7-26

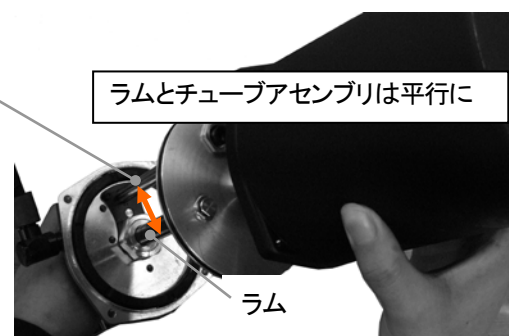


図7-27

- (10) マイナスドライバでフィルスクリュを緩め、余分な油圧オイルと空気(気泡)を除去してください。油圧オイルが出なくなるまで放置した後、フィルスクリュを締め付けてください。(図7-28)

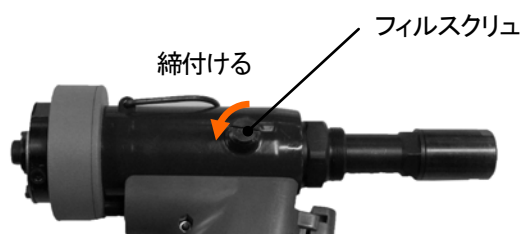
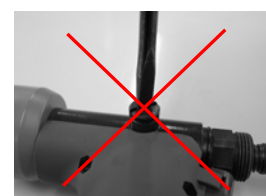


図7-28



フィルスクリュの緩め・締め付けは、大型ドライバで行ってください。ドライバ先端部の幅・厚さが不十分ですと フィルスクリュの締め付け不足(オイル洩れ)・破損につながります。

- (11) 最後にノーズハウジング、コレクタを組み付けてください。

※ 分解・組立時に油圧オイル内、及びチャンバ内部にごみや金属粉等が入らないように注意してください。

8. トラブルシューティング

(本内容の確認をしても直らない場合は、販売店または当社へ修理を依頼してください。)

現 象	要 因	処 置
リベットがノズピースに入らない。 または、締結後マンドレルが排出できない。	1. 部品の不適合 ノズピースが使用リベットに適合していない。	使用リベットに適合したノズピースに交換してください。(P.4, P.12)
	2. 部品の緩み ノズピース、ノズハウジング、ジョーケースが緩んでいる。	スパナにて、しっかりと締め付けてください。
	3. 部品の損傷 ジョー、ノズピース(ジョーとの接触部)、ジョープッシャまたはジョープッシャスプリングが損傷している。	損傷部品を新しい物と交換してください。(P.12)
	4. ノズハウジング内の汚れ ノズハウジング内に金属粉等が溜まりジョーの開き不良となっている。	ノズハウジング、ジョー等の掃除をしてください。(P.11)
	5. ジョーとジョーケースの潤滑不良 ジョーとジョーケースの潤滑不良により噛み込み状態となっている。	ジョー等先端部品の掃除・グリスアップを行ってください。(P.11)
	6. 油圧オイル量過剰 油圧オイルの交換後、余分な油圧オイル及び、空気の除去が不十分。	フィルスクリュを緩め、余分な油圧オイル及び空気の除去を行ってください。(P.15)
	7. ジョープッシャ内のつまり ジョープッシャ内にマンドレル他がつまっている。	ジョープッシャを外し、つまっている物を除去してください。(P.11, 12)
MCSでマンドレルが回収されない。 (吸引力が弱い)	1. 供給空気圧力の不足	供給空気圧力の調整をしてください。(P.6)
	2. コレクタ内にマンドレルがたまりすぎている	コレクタ内のマンドレルを廃棄してください。(P.10)
	3. コレクタエンドの溝が目詰まりしている。	コレクタエンドを清掃してください。(P.14)
	4. ジョープッシャ、マンドレルガイドが使用リベットに適合していない。	使用リベットに適合したジョープッシャに交換してください。(P.4, P.11, P.12)
	5. ジョープッシャ内にマンドレル他がつまっている	ジョープッシャを外し、つまっている物を除去してください。(P.11, P.12)
一度のトリガ操作でリベットが締結できない。	1. 部品の不適合 ノズピースが使用リベットに適合していない。	使用リベットに適合したノズピースに交換してください。(P.4, P.12)
	2. 供給空気圧力の不足	供給空気圧力の調整をしてください。(P.6)
	3. ジョーの滑り ジョーの歯に金属粉のつまり、または歯の摩耗により、マンドレルをつかまず滑っている。	ジョーの掃除をしてください。 掃除をしても直らない場合は、ジョーを新しい物と交換してください。(P.11, 12)
	4. ストローク不足 油圧オイルの不足または空気の混入により、ストロークが不足している。	油圧オイルの交換を行ってください。(P.15, P.16)
	5. ジョーケースの破損	ジョーケースを交換してください。(P.11)
コレクタを外してもマンドレル回収エアが自動的に停止しない	1. MCSキャップ内に金属粉が溜まっている。	MCSキャップ内を清掃してください。(P.13)

9. オプション

9-1. FAN276-215 / シールキット

分解修理時に必要な使用頻度の高いOリングを セットにしました。
このシールキットで ほとんど修理が 対応出来ます。

No.	部品番号	品 名	員 数
54	DPN900-007	Oリング (P4-1B)	1
20	DPN900-062	Oリング (B0224G-1B)	1
23	DPN900-063	Oリング (P26-U8)	1
25	DPN900-064	Oリング (P26-1B)	1
69	DPN900-071	Oリング (3095-1A)	1
76	DPN900-072	Oリング (15-100-1A)	1
86	DPN900-074	Oリング (S10-1A)	2
131	DPN900-078	Oリング (15-110-1B)	2
19	DPN908-015	スクレーパ (SER-14)	1
21	DPN908-021	バックアップリング (T2P14-PT)	2
22	DPN908-022	ペンタシール (PS14-RP902)	2
24	DPN908-023	バックアップリング (T2P26-PT141)	1
12	DPN908-026	ペンタシール (PS12.5)	1
13	DPN908-027	バックアップリング (T2P12.5-PT)	1

10. パーツリスト

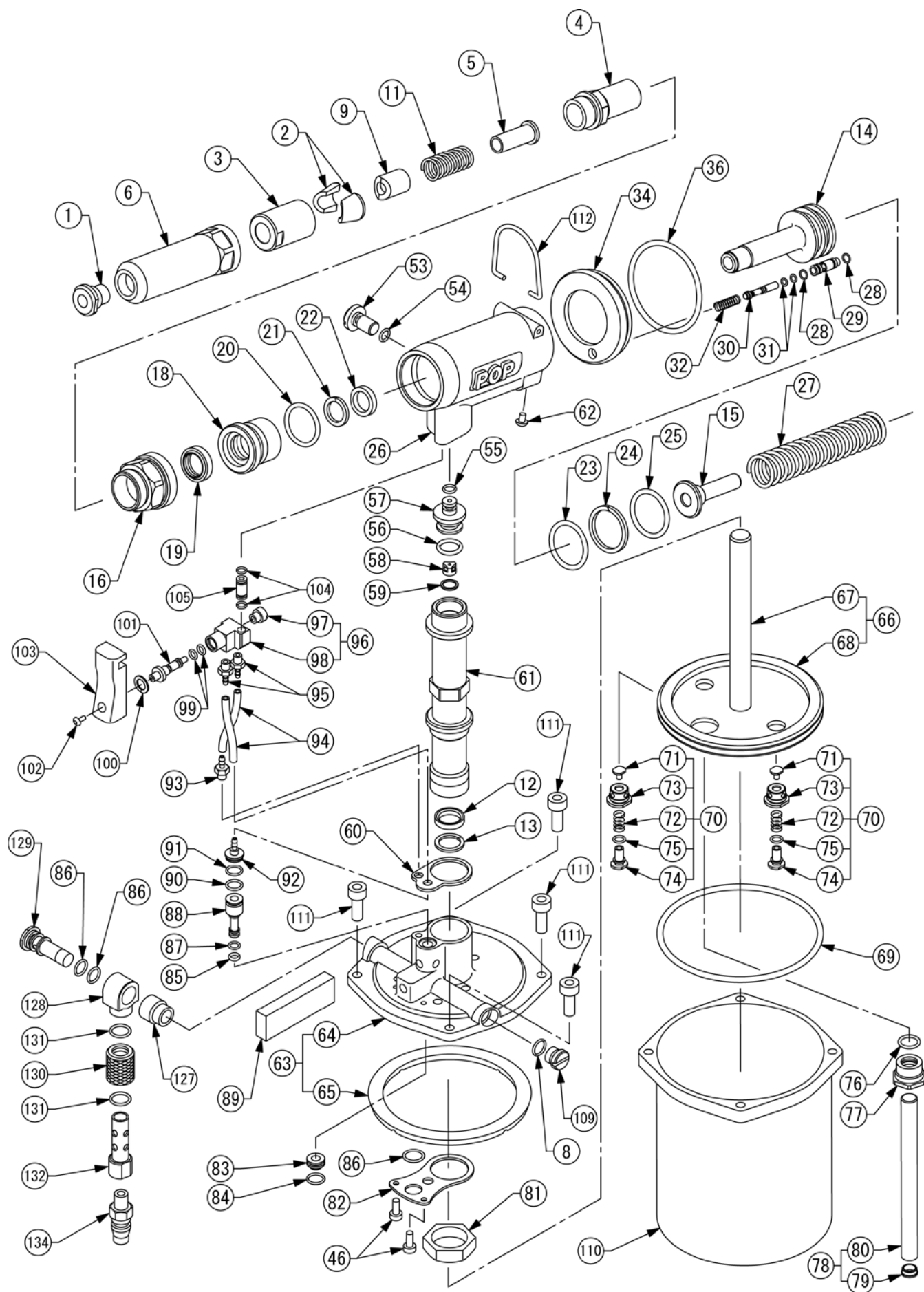
No.	部品番号	品名	員数
1	PRN1310	ノースピース	1
2	PRS1300-04	ジョー	1 セット
3	PRS1300-01A	ジョーケース	1
4	PRS1300-02	ブリッジヘッド	1
5	PRS1300-06	ジョーブッシュガイド	1
6	DPN276-176	ノースハウジング	1
8	DPN900-045	O-リング (SS060-1A)	1
9	PRS1350-01	ジョーブッシュ	1
10	DPN276-181	ワッシャ	1
11	DPN901-025	ジョーブッシュスプリング	1
12	DPN908-026	ヘンタシール (PS12.5)	1
13	DPN908-027	バックアップリング (T2P12.5-PT)	1
14	DPN276-174	ハイドロロックピストン	1
15	PRS1300-07	ピストンテール	1
16	DPN276-175	ハウジングアダプタ	1
17	DPN900-081	O-リング (P9-1A)	1
18	DPN276-011	ロッドシールケース	1
19	DPN908-015	スクレーパ (SER14)	1
20	DPN900-062	O-リング B0224G-1B	1
21	DPN908-021	バックアップリング (T2P14-PT)	1
22	DPN908-022	ヘンタシール (PS14-RP902)	1
23	DPN900-063	O-リング (P26-U8)	1
24	DPN908-023	バックアップリング (T2P26-PT141)	1
25	DPN900-064	O-リング (P26-1B)	1
26	DPN276-012	ハンドルアッパ	1
27	DPN901-021	リタンススプリング	1
28	DPN900-065	O-リング (06-047-1A)	2
29	DPN276-013	MCS バルブケース	1
30	DPN276-014	MCS バルブロッド	1
31	DPN900-066	O-リング (SS020-1A)	2
32	DPN901-022	スプリング (12-0531)	1
33	DPN276-015	エンドキャップアダプタ	1
34	DPN276-016	MCS キャップフロント	1
35	DPN276-017	スライダ	1
36	DPN900-067	O-リング (12-481-1A)	1
37	DPN276-019	MCS キャップテール	1
38	DPN900-068	O-リング (P44-1A)	2
39	DPN276-018	スライダブッシュ	1
40	DPN900-069	O-リング (15-400-1A)	1
41	DPN276-179	エンドキャップ	1
42	DPN276-061	カラー	2
43	DPN276-021	カラースクリュ	2
46	DPN907-002	キャップスクリュ M3-6	6
47	DPN276-180	エンドキャッププレート	1
48	FAN276-217	エジェクタ	1
49	PRS1300-15	エジェクタボディ	1
50	PRS1300-16	エジェクタパイプ	1
51	PRS1300-13	エジェクタノズル	1

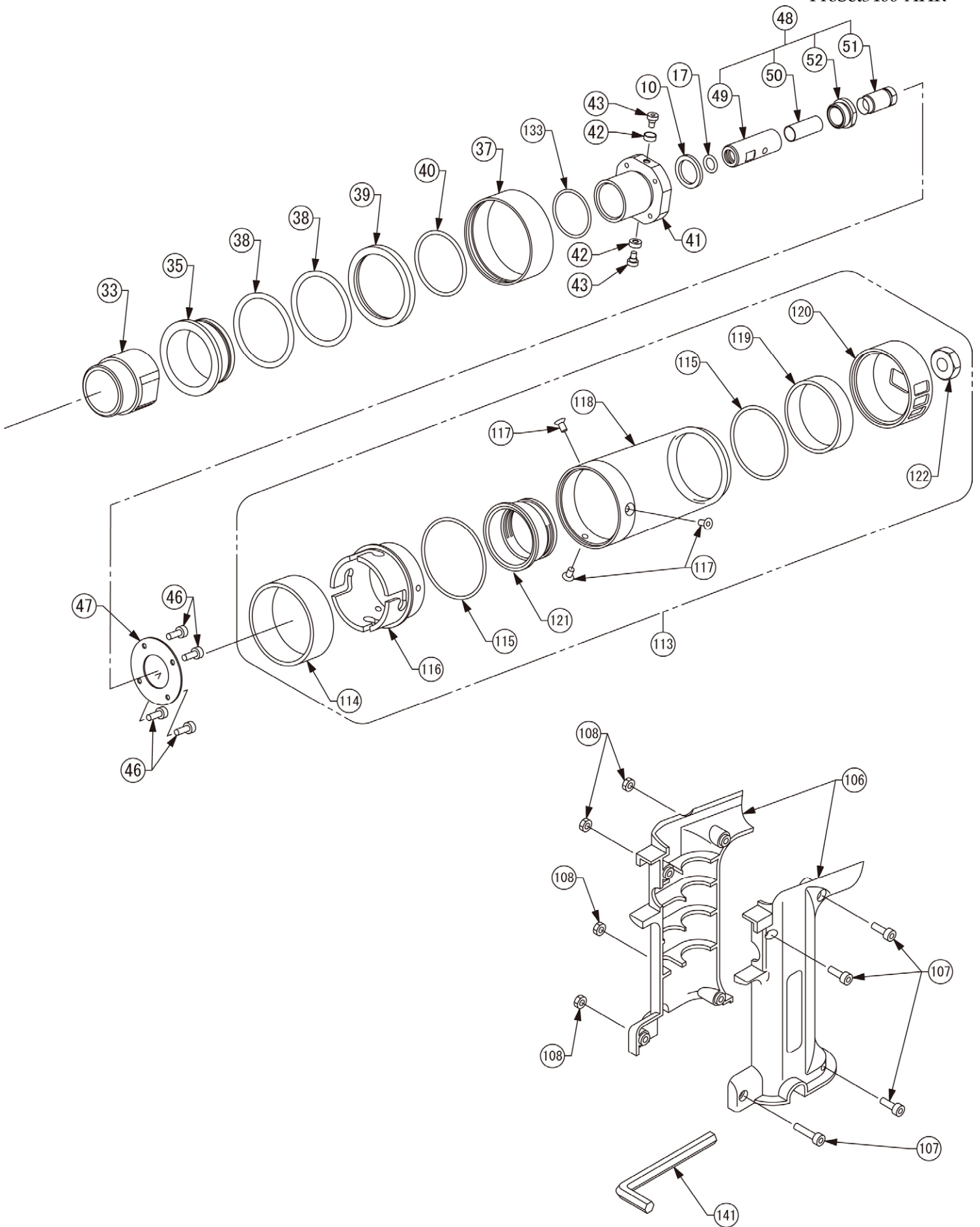
No.	部品番号	品名	員数
52	PRS1300-14	エジェクタロック	1
53	DPN239-047	フィルスクリュ	1
54	DPN900-007	O-リング (P4-1B)	1
55	DPN900-070	O-リング (P6-U5)	1
56	DPN900-036	O-リング (P11-U5)	1
57	DPN276-028	スリーブアッパ	1
58	DPN276-029	リストリクタ	1
59	DPN902-002	リティニグリング RTW8	1
60	DPN276-030	アッパプレート	1
61	DPN276-178	スリーブロア	1
62	DPN276-085	ナベ小ネジ M2.5-3	1
63	FAN276-033	ハンドルロアアセンブリ	1
64	DPN276-034	ハンドルロア	1
65	DPN276-035	ハンパ	1
66	FAN276-205	エアピストンアセンブリ	1
67	DPN276-177	ラム	1
68	DPN276-038	エアピストン	1
69	DPN900-071	O-リング (3095-1A)	1
70	FAN275-022	EXT バルブ	2
71	DPN275-025	EXT バルブヘッド	2
72	DPN901-008	EXT バルブスプリング	2
73	DPN275-024	EXT バルブケース	2
74	DPN275-023	EXT バルブロッド	2
75	DPN900-030	O-リング (P5-1A)	2
76	DPN900-072	O-リング 15-100-1A	1
77	DPN276-039	チューブシールケース	1
78	FAN276-040	チューブアセンブリ	1
79	DPN276-041	チューブエンド	1
80	DPN276-042	チューブ	1
81	DPN276-043	スリーブロックナット	1
82	DPN276-044	ボトムプレート	1
83	DPN276-045	J バルブキャップ	1
84	DPN900-073	O-リング (SS070-1A)	1
85	DPN900-012	O-リング (S4-1A)	1
86	DPN900-074	O-リング (S10-1A)	3
87	DPN900-035	O-リング (P5-U5)	1
88	DPN276-046	J バルブロッド	1
89	DPN239-069	EXT サイレンサ	1
90	DPN900-075	O-リング (16-071-1A)	1
91	DPN900-076	O-リング (SS080-1A)	1
92	DPN276-047	J バルブフィッティング	1
93	DPN276-048	H.L フィッティング	1
94	DPN276-049	エアチューブ	2
95	DPN239-120	フィッティング LC0535-M5	2
96	FAN239-074	S バルブケースアセンブリ	1
97	DPN239-075	S バルブエンド	1
98	DPN239-076	S バルブケース	1
99	DPN900-014	O-リング (S3-1A)	2

No.	部品番号	品名	員数
100	DPN902-001	リテーニングリング RTW9	1
101	DPN239-078	Sバルブロッド	1
102	DPN906-001	ホタンホルト M3-6	1
103	DPN239-150	トリガ	1
104	DPN900-015	O-リング SS040-1A	2
105	DPN239-083	コネクトチューブ	1
106	DPN276-050	ハンドル R,L	1
107	DPN907-001	キャップスクリュ M3-10	4
108	DPN239-086	六角 M3	4
109	DPN276-051	ブラク	1
110	DPN276-052	チャンバ	1
111	DPN907-009	フランジ付キャップスクリュ M5X14	4
112	DPN276-063	フック	1
113	FAN276-055	コレクタ	1
114	DPN276-056	コレクタロックカラー	1
115	DPN900-077	O-リング 15-460-1A	2
116	DPN276-057	コレクタロック	1
117	DPN903-001	皿小ネジ M3-5	3
118	DPN276-058	コレクタホディ	1
119	DPN276-059	コレクタサイレンサ	1
120	DPN276-060	コレクタエントキャップ	1
121	DPN276-062	コレクタエンド	1
122	DPN239-152	コレクタエントナット	1
127	DPN276-053	Rジョイントスパーサ	1
128	DPN276-076	Rジョイント	1
129	DPN276-054	Rジョイントアダプタ	1
130	DPN276-078	OSスライダ	1
131	DPN900-078	O-リング 15-110-1B	2
132	DPN276-077	OSジョイント	1
133	DPN900-080	O-リング 15-255-1A	1
134	AN500-72	ニップル	1

No.	部品番号	品名	員数
付属品			
141	DPN239-139	六角棒レンチ 4mm	1

11. 分解图





ProSet3400-AHR 修理依頼書

STANLEY
Engineered Fastening

本修理依頼書を修理品に添付の上、発送ください。

*の付いている項目は、ご記入必須事項です。

お名前					
会社名/部署名					
ご住所					
TEL/FAX/E-Mail	* TEL:	FAX:	E-Mail:		
ご購入先	☐ 直取 ☐ 商社 商社名: _____				
ご購入日	____年____月	* 機種		* シリアル No.	
【御社の使用条件についてご記入ください】					
* リベットサイズ/品名	☐ 13 サイズ 品名: _____				
* 母材条件	板厚: _____mm 下穴径: ϕ _____mm ☐ 金属 ☐ 樹脂 ☐ その他				
* 使用本数	_____本/日 _____本/月				
* 使用エア圧	_____MPa	エアフィルタ	☐ 有 ☐ 無		
【故障(不良)の内容についてご記入ください】					
リベットがかしまらない	☐ ストロークしない ☐ ストロークするがかしまらない ☐ 途中までしかかしまらない ☐ リベットが装着できない				
オイルもれ・エアもれ	☐ ツール上部からオイルもれ ☐ ツール下部からオイルもれ ☐ ツール上部からエアもれ ☐ ツール下部からエアもれ				
MCS (マントレルコレクタシステム)	☐ 時々 回収されない ☐ まったく回収されない ☐ コレクタを装着しても 回収エアが開始されない ☐ コレクタを外しても 回収エアが止まらない				
その他					
【希望される修理内容についてご記入ください】					
☐ オーバーホール(メンテナンスキット交換) ☐ 故障箇所の修理 ☐ その他 _____					
☐ 不足部品取付け不要 ☐ 不足部品取付け要 ノーズピース ノーズハウジング コレクタ その他 _____					
☐ 不適正部品交換不要 ☐ 不適正部品交換要					
【ご意見・ご要望】					

ポップリベット・ファスナー株式会社

NIPPON POP RIVETS AND FASTENERS LTD.

■ 本 社	／ 東京都千代田区紀尾井町3-6(紀尾井町パークビル8F)	〒102-0094	Tel 03-3265-7291 (代)
■ 営業部門(ポップリベット・ポップナット・カレイナット・ウェルナット・フラットナット等)			
東京営業所	／ 東京都千代田区紀尾井町3-6(紀尾井町パークビル8F)	〒102-0094	Tel 03-3265-7291 (代)
栃木営業所	／ 栃木県宇都宮市平出工業団地9-23	〒321-0905	Tel 028-613-5021 (代)
北陸営業所	／ 富山県高岡市京田462-1	〒933-0874	Tel 0766-25-7177 (代)
豊橋営業所	／ 愛知県豊橋市野依町字細田	〒441-8540	Tel 0532-25-1126 (代)
中部営業所	／ 愛知県名古屋市名東区亀の井2-269	〒465-0094	Tel 052-709-4600 (代)
大阪営業所	／ 大阪府大阪市淀川区西中島6-11-25(第10新大阪ビル1F)	〒532-0011	Tel 06-7668-1523 (代)
広島営業所	／ 広島県広島市東区光町1-10-19(日本生命広島光町ビル5F)	〒732-0052	Tel 082-568-5002 (代)
九州営業所	／ 福岡県飯塚市有安1025-7	〒820-0111	Tel 0948-88-8460 (代)
鈴鹿出張所	／ 三重県鈴鹿市西条4-48(西條ビルディング)	〒513-0809	
■ 工 場 豊橋工場	／ 愛知県豊橋市野依町字細田	〒441-8540	Tel 0532-25-1126 (代)

●仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

2015.09.02 改訂